

新型コロナウイルス感染者の発生について

1. 経過

令和2年4月27日（月）から入院されていた患者1名が、4月29日（水）に行った検査で新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

これはこの患者の家族が4月29日（水）に発熱と咳で当院を受診された際に新型コロナウイルス感染症が疑われたため、念のためにこの家族と患者さんの2名を同時に新型コロナウイルスの検査を行って判明したものです。

入院されていた患者さんは、コロナ対応病棟に転棟いただきましたが、新型コロナウイルス感染症を疑う症状はなく、無症状病原体保有者と診断されています。

2. 病院の対応

中和保健所と連携を図り、早急に以下の対応をとっています。

- ① 保健所の指導のもと、濃厚接触者の特定は患者2名、職員10名、清掃業務等委託業務従事者3名と完了しており、現時点で全員症状はありません。
- ② 濃厚接触者に該当する患者さんは個室へ移動、職員等は出勤停止とするとともに、それぞれ新型コロナウイルスのPCR検査を実施します。
- ③ コロナ感染が確認された入院患者が入院していた病棟から他病棟への転棟や他院への転院を中止します。また当該病棟への新規入院も停止します。

今後も、他の患者さん及び職員の経過観察をおこなっていくとともに、感染拡大防止に向け、適切な対応に努めてまいります。

皆さまにはご心配をおかけすることとなりますが、入院・外来の診療を継続して参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

今後の当院の対応状況は、ホームページ及び院内掲示で随時お知らせいたします。

奈良県立医科大学附属病院
病院長 吉川 公彦